

富 道 交 第 446 号
平成 20 年 10 月 21 日

国土交通省道路局長 様

富田林市長 多田 利喜



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号により依頼のありました標記につ
きましては、別紙を本市の意見・提案といたします。

お取計らいの程、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政について意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望

大阪府富田林市

市民生活において、あらゆる市民が安心、安全、快適に利用できる道路整備を進めるためには、生活に密着した道路、集落内の狭隘道路、通学路等の改善整備が必要であり、小規模な道路整備、維持管理にかかる事業については補助制度もなく自主財源で実施しなくてはならない。

地域実情に応じた柔軟な事業制度の創設、導入が図られなければ、地方の力だけでは十分に改善、整備が図られない。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

大阪府富田林市

○現状 実現性の乏しい都市計画道路路線が多数あり、道路整備はもとより、地域振興の発展の阻害要因となっている。 地方の自治体が管理する道路は小幅員道路、いわゆる狭隘道路が大半であり、住宅に近接しており拡幅する余裕さえない道路である。住民には一番身近な道路であるが、防災面では満足できる基準にない。	○課題 都市計画道路の整備構想があるものの、都市計画道路構想を樹立した以降、社会状況も大きく変化し実情にそぐわない都市計画道路網となっている。計画路線決定後、路線内の規制があり行政指導した経過から容易に都市計画変更できない。また、変更するにあたっては手続も複雑で多大な時間、経費を要することから、変更できず計画のための計画路線となっている。変更手続を短時間で容易にできるよう改善し、実態に沿った新たな道路計画手法が必要ではないか。
--	---

今後の道路行政について意見・提案

②-2. 地域の目指すべき将来像

高齢社会や障がい者など、だれもが利用しやすい公共交通網の整備と道路網や交通環境全体のバリアフリー化などを、都市計画や防災に配慮したまちづくりを目指す。

南河内地区の東西道路網の早期整備（南河内地区から堺、大阪方面を結ぶ主幹道路の整備が遅れている）を図り、南河内地域の地域発展を目指す。

隣接都市と連結した道路整備により災害に強い道路ネットワークの構築する。

高速道路の空白地域である南河内地域への延伸整備を進め、大阪市内への交通の円滑化、迅速化を図り、渋滞による時間的損失をなくし経済効率を高める。

今後の道路行政について意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○ 重点事項 地域の安全	○ 代表事例 狭隘道路解消のため小規模事業の助成制度の創設 小規模通学路への助成	○ 期待する効果や評価等 密集住宅内の狭隘道路を拡幅することにより防災時に被害の軽減化が図れる。 少子化により小規模な通学路整備を充実することにより児童の安全確保が図られる	その他
-------------------------	--	--	------------